

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和6年度 第1回定期総会

議案書

議案審査

- 1) 第1号議案 令和5年度事業報告
- 2) 第2号議案 令和5年度収支会計報告及び監査報告
- 3) 第3号議案 令和6年度事業計画および予算案
- 4) 第4号議案 令和6・7年度沖臨技役員推薦について
- 5) その他

※ 沖臨技ホームページに掲載いたしますのでご覧ください

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和6年度 第1回定期総会

令和6年6月16日（日） 琉球大学医学部臨床講義棟2F大講堂

次第

一、司会者あいさつ

一、開会の辞

一、会長あいさつ

一、議長選出

一、総会役員選出

資格審査委員・議事運営委員任命

一、資格審査委員・議事運営委員報告

一、議案審査

1) 第1号議案 令和5年度事業報告

2) 第2号議案 令和6年度収支会計報告及び監査報告

3) 第3号議案 令和6年度事業計画および予算案

4) 第4号議案 令和6・7年度沖臨技役員推薦について

5) その他

一、総会役員解任

一、議長あいさつ

一、閉会の辞

令和5年度

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 各賞受賞者

令和5年度 沖縄県医事功労者知事表彰

手登根 稔 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院)

令和6年度永年職務精励者表彰賞 (11名；承諾が得られた8名を掲載)

奥井 美咲 (牧港中央病院)

天願 博喜 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

名護 珠美 (琉球大学病院)

山内 恵 (琉球大学病院)

森田 知子 (浦添総合病院)

喜舎場 良香 (浦添総合病院)

赤嶺 希 (浦添総合病院 健診センター)

又吉 律子 (中部徳洲会病院)

(順不同)

令和5年度事業報告

昨年5月8日から、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が2類相当から5類へと移行されたのを機に、漸く各種研修会や学会等も対面での開催へと置き換わりつつあります。しかし、Web開催のメリットは大きく、特に離島県である沖縄県においては、旅費が不要となることや、オンデマンドですと何時でも何処でも何度でも繰り返し視聴が出来ることから、そのメリットは大きく、コロナ禍以前の勉強スタイルとは大きく変わってきました。アフターコロナとしては、対面開催を基本としつつ、時にはWebの利点を活かしての併用開催も取り入れながら運営していく必要があるかと思えます。

さて、令和5年度を振り返りますと、沖臨技において一番大きな行事は「沖臨技70周年・法人化35周年記念式典・祝賀会」の開催でした。コロナ禍で開催時期が少し遅れましたが、多くの来賓の方々の同席のもと、盛況に終えられ、3年分の各賞受賞者を表彰することが出来ました。この場をお借りして、会員並びに賛助会員の皆様へ厚く御礼申し上げます。

重点課題の「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は、令和5年度は第6回～第9回までの4回開催され、これまでに会員の56.1%の方々が終了されました。この割合は、全国で島根県、三重県に次いで3位と非常に高い成績であります。今年度も7～8割の方々が終了されるのを目標に、引き続き開催して参りますが、応募者が少なくなれば回数も減っていき、来年度以降は近隣県との合同開催となる可能性もありますため、未受講の方は早めの受講をお勧めいたします。二つ目の重点課題の今年度から義務付けされる臨地実習指導者の養成に関しましては、ほぼ臨地実習受け入れ施設において1名以上の指導者を養成することが出来ました。しかし、規模の大きな施設では複数名の指導者の養成が必要となってくるため、引き続き「臨地実習指導者講習会」の受講（二人目からは受講料3000円）を推進いたします。

年に一度開催しております沖縄県医学検査学会は、昨年度は完全対面式で開催しました。当初参加者が少ないのでは？との不安もありましたが、蓋を開けてみますと参加者327名（会員283名）と予想を上回り大盛況でした。特に若手技師の参加者が多いように思われ、久々に多くの質問が飛び交い意見交換が出来たものと思えます。

コロナ禍前までは恒例であった新人研修会は、昨年度は宿泊無しで、1～4年目までの新人60名を迎え盛大に行われました。研修会後の情報交換会も非常に盛り上がりましたが、時間が足りなく、思うように親睦が図れなかったとの意見もあり、次回からはやはり宿泊研修に戻すべきと痛感致しました。

公益事業の大きな一つの全国「検査と健康展」は、昨年もイオン南風原ショッピングセンターを会場に盛大に開催されました。今回は広報活動に力を入れ、従来の新聞広告（地元紙2社）に加え、ラジオカー（FMおきなわ、ラジオ沖縄）の誘致、健康展のコマーシャル（FMおきなわ：20秒×1日数回×一週間程）、ティーサージパラダイス（ラジオ沖縄）への出演を試みました。特に、ヒープーさんのティーサージパラダイスでは「臨床検査技師って知ってますか？」のアンケートを取っていただいたところ、40%の方々がYES（名前だけ知っている方々も含む）と回答されました。思いのほか高い結果だったかと思えます（日臨技の調査結果では2割程度）。お昼の2時間程の番組でしたが、常に臨床検査技師

という言葉が飛び交い、強く臨床検査技師を印象付けられたものと確信しました。臨床検査技師の知名度アップのためには、是非、このようなマスコミを利用した広報活動を継続してやっていく必要があると痛感致します。

また、昨年度は沖縄県公衆衛生協会から声がかかり、県主催で子供たち向けに科学の面白さを知ってもらおうと企画された「サイエンティフィックフェス」にも参加させていただきました。今回、「ライカム」と「もとぶ」の2ヶ所に参加いたしましたが、多くの親子連れが途切れなく訪れ、臨床検査の面白さを十分に伝えることが出来、臨床検査技師を大いにアピール出来たことと思います。

昨年度は、なごみ会主催「県民健康フェア」も4年ぶりに開催され、沖臨技は頸動脈エコー検査を目玉にブースを設置しましたが、お隣の医師会ブース前を塞ぐほどの受検者の長蛇の列が出来、嬉しい悲鳴を上げるほど大盛況でした。

さらに、人材育成に関して当会は、一昨年度「ひまわり奨学金制度」を設立し奨学生を募集してきましたが、昨年漸く初めての奨学生が誕生しました。今年度から給付型の奨学金が支給されますが、将来当会を引っ張ってくれる人材となるよう期待しております。この事業は基金が底つくまで継続して行っていくしますので、是非知人等で該当者がおられましたら紹介いただければ幸いです。

以上、令和5年度の事業報告を述べてきましたが、アフターコロナにおいては対面でのイベント開催を中心に、Web開催のメリットを活かしつつ活動していく必要があります。特に、今年度は臨床検査技師の知名度アップに向けて、広報活動に注力してきました。知名度アップにはマスコミを利用した活動が必須であるため、継続して次年度も注力していく所存であります。

。

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会 会長 手登根 稔

【総務関係】

1. 定期総会

- ・令和5年度 第1回定期総会

日時：令和5年6月3日（土）17：10～18：10

場所：友愛医療センター 7F 会議室

2. 定例理事会 現地+Web 併用

- ・第1回 理事会 日時：令和5年 4月 12日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第2回 理事会 日時：令和5年 5月 10日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第3回 理事会 日時：令和5年 6月 14日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第4回 理事会 日時：令和5年 7月 12日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第5回 理事会 日時：令和5年 8月 9日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第6回 理事会 日時：令和5年 9月 13日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第7回 理事会 日時：令和5年 10月 11日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第8回 理事会 日時：令和5年 11月 8日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第9回 理事会 日時：令和5年 12月 13日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第10回 理事会 日時：令和5年 1月 10日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第11回 理事会 日時：令和5年 2月 14日（水）19：00～ 場所：沖臨技事務所
- ・第12回 理事会 日時：令和5年 3月 13日（水）19：00～ 場所：浦添総合病院 4F 会議室

3. 「タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」

- ・第6回

日時：令和5年4月29日（土）9：30～17：30

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

受講者：58名

- ・第7回

日時：令和5年7月16日（日）9：30～17：30

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

受講者：56名（県外1名；神奈川県）

- ・第8回

日時：令和5年9月17日（日）9：30～17：30

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

受講者：56名（県外2名；埼玉県、鹿児島県）

- ・第9回

日時：令和6年2月11日（日）9：30～17：30

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

受講者：57名（県外3名；神奈川県、岐阜県、鹿児島県）

4. **臨床検査室責任者会議**（Web併用）

・第1回

日時：令和5年6月3日（土） 16:00～17:00

場所：友愛医療センター 7F 会議室

参加者：34名（現地22名、Web12名）

・第2回

日時：令和6年1月28日（日）12:00～13:00

場所：ノボテル沖縄那覇

参加者：24名（現地15名、Web9名）

5. **各賞受賞祝賀会・新年会**

・**沖臨技創立70周年記念式典・祝賀会**

日時：令和5年7月1日（土）16:30～20:00

場所：ノボテル沖縄那覇 2F ラーボ

参加人数：約150名

・**令和6年沖臨技新年会&祝賀会**

日時：令和6年1月28日（日）12:00～14:00

場所：ノボテル沖縄那覇 2F ラーボ

受講者：約70名

6. **日臨技関係**

・**令和5年度日臨技定期総会 70周年記念式典・祝賀会**

日時：令和5年6月24日（土）

場所：ホテル雅叙園東京（目黒）

定期総会：沖縄県受領率 54.12%

（有効受領数 460円×50円＝23,000円協力金として沖臨技に入金された）

沖縄県から山城副会長が厚生労働大臣表彰を受賞

・**令和5年度日臨技理事会（手登根会長出席）**

第1回：令和5年4月22日（土）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

第2回：令和5年7月22日（土）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

第3回：令和5年9月23日（土）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

第4回：令和5年11月23日（木）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

第5回：令和6年1月27日（土）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

第6回：令和6年3月23日（土）9:30～12:30 場所：ステーションコンファレンス川崎

・**災害時応援協定の締結促進のためのWeb説明会報告**

日時：令和5年12月23日（土）13:00～14:00 Web開催

参加者：手登根会長、牧志理事

7. 九州支部関係

・令和5年度第1回九州支部内連絡会議

日時：令和5年7月8日（土）14：00～

場所：八仙閣本店（福岡市）

参加者：手登根会長、山城副会長

・令和5年度第2回九州支部内連絡会議・学術部門長会議

日時：令和5年10月20日（金）14：00～17：00

場所：ホテルグランデはがくれ（佐賀）

参加者：手登根会長、仲宗根理事、金城和美九州支部部門長

・令和5年度第3回九州支部内連絡会議

日時：令和6年3月9日（土）14：00～

場所：エイムアテイン博多駅東会議室（博多）

参加者：手登根会長、山城副会長

・長崎県臨床検査技師会創立70周年・法人化30周年記念式典・祝賀会

日時：令和5年9月30日（土）14：00～19：30

場所：L&Lホテルセンリュウ（諫早市）

参加者：手登根会長

・鹿児島県臨床検査技師会創立70周年記念式典

日時：令和6年2月17日（土）16：30～20：00

場所：TKP ガーデンシティ鹿児島中央

参加者：手登根会長

・大分県臨床検査技師会創立70周年記念式典

日時：令和6年3月2日（土）16：30～20：30

場所：レンブランドホテル大分

参加者：手登根会長

8. 令和5年度リーダー育成研修会

日時：令和6年2月18日（日）9：30～17：00

場所：友愛医療センター 7階会議室

参加者：18名

実務委員：山城副会長、田盛事務局長、與那嶺理事、登川理事、国仲理事

9. 世界アルツハイマー月間（9月）

沖臨技ホームページ：色付け（オレンジ色）、アルツハイマー月間サイトのリンク

事務所：入口装飾にて啓蒙

10. 関連団体

他団体への新年会・祝賀会への参加

- ・看護協会：令和6年1月6日（土）ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城
- ・医師会：令和6年1月6日（土）ナハテラス
- ・薬業連合会（薬剤師会）：令和6年1月6日（土）ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城
- ・放射線技師会：令和6年1月14日（日）パシフィックホテル
- ・栄養士会：令和6年1月20日（土）オリオンホテル那覇

11. 日本臨床検査技師連盟沖縄県支部

- ・連盟本部執行委員会会議（Web）瀬戸支部長出席
令和6年3月31日（日）9：00～11：00
- ・連盟九州ブロック会議 佐賀文化会館 瀬戸支部長、手登根会長出席
令和5年10月21日（土）13：00～14：00
- ・沖縄県支部会議
令和5年5月24日（水）18：30～20：30 沖臨技事務所
令和6年1月31日（水）19：00～20：00 沖臨技事務所
- ・令和5年度会員数（令和5年12月31日確定）46口（36名）；昨年度43口（39名）

【涉外関係】

・ 沖臨技創立70周年・法人化35周年 記念式典・祝賀会 記念事業

令和5年7月1日(土) 場所：ノボテル沖縄那覇

沖縄県臨床検査技師会の創立70周年記念式典が開かれ、臨床検査分野の各賞の表彰報告と授与式が開催された。表彰されたのは叙勲受章（瑞宝双光章）5人、厚生労働大臣表彰（臨床衛生検査業務功労者）1人、沖縄県医事功労者知事表彰2人、日本臨床衛生検査技師会地域貢献賞1人、沖臨技特別賞2人、沖臨技功労者表彰35人。式典はコロナ禍の影響で延期され発足73年目となる今年の開催となり、過去3年分の表彰式となった。式典や祝賀会には日臨技から宮島喜文会長と丸田秀夫副会長が参加したほか、九州各県会長、県内他職種の要職の方々の出席もみられた。



第1号議案 令和5年度報告（涉外）

・第12回新人研修会 教育事業

令和5年9月9日(土) 場所：沖縄産業支援センター

新卒から3年目くらいまでを対象とした当会主催の新人宿泊研修会は、今回コロナ収束を想定して、新卒から5年目までを対象とし、宿泊なし・Webなし・現地研修会のみで、令和5年9月9日(土)に沖縄産業支援センターで開催した。54名の応募があり、スタッフ含めて70名以上の参加となり、やはり不可欠な主軸事業であることが改めて示された。



・第10回県民健康フェア（なごみ会主催） 公共事業

令和5年10月1日(日) 場所：沖縄コンベンションセンター

健康に対する意識を高めてもらおうと、県内の保健医療関係17団体でつくる県医療保健連合（なごみ会）が主催となり、毎年実施している県民健康フェアだが、2020年から2022年までの3年間はコロナ禍の影響により未開催であった。今年度は、ようやく開催することが出来て、当会のブースもコロナ禍以前の活気が戻り、臨床検査技師を大きくPRすることが出来た。

・ピンクリボン沖縄2023 公共事業

ピンクリボン活動は乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診の推進など、乳がんをより多くの人に理解してもらうための活動で、当会も毎年参加しており、ピンクリボン沖縄2019まで開催していたが、それ以降はコロナ禍の影響で未開催となっており、2023年度は開催出来たが、上記の第10回県民健康フェアの1ブースとして開催しており、当会からは同じ企画内ということで、不参加となった。次年度以降も積極的に協力していきたい。

・全国「検査と健康展」in南風原2023 公共事業

令和5年12月3日(日)

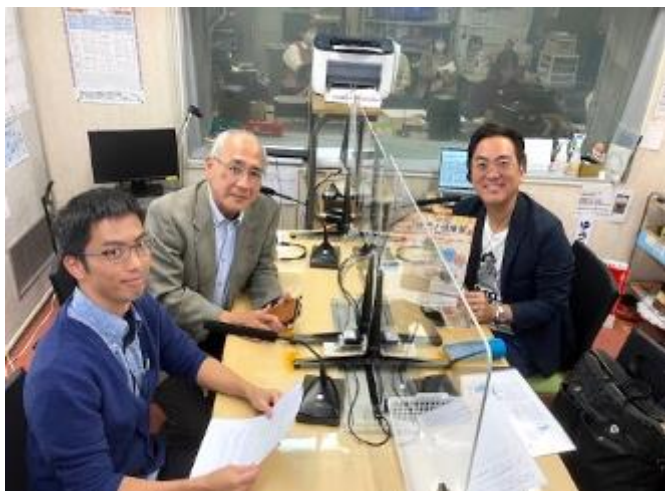
場所：イオン南風原ショッピングセンター

今年度もメインの会場を提供していただき、当会は実務委員47名の人員で挑んだ。今回は広報にかなり力を入れており、従来の新聞広告（沖縄タイムス、琉球新報）に加えて、手登根会長をはじめ理事数名にてラジオ等にも出演し、前日譚のPRとしてしっかりおさえた。前年度に続き「臨床検査」って面白い！検査とカラダの不思議を体験しよう！のテーマで、顕微鏡や医療機器を使用して、血液の中、がん細胞、細菌、エコーなどの検査を実施した。それに加えて骨密度測定や手洗いチェッカ



第1号議案 令和5年度報告（渉外）

一、新型コロナウイルス感染症関連展示の新設ブースも設けた。今回の目玉は、一般検査分野にて、寄生虫の標本や動画・写真を用いて解説、輸血検査分野の血液型検査における反応等がお子さん達の関心を大きく揺さぶった。また、病理・細胞分野は、“はたらく細胞”の動画を流して、一工夫加えた解説を行っており、来場者にはかなり高評価だったと思われる。開催日は、沖縄県民の大きな行事にあたる“NAHA マラソン”とかぶっていたが、昨年同様に約500名の来場者がみられた。これは前述した広報に力を入れた効果が反映しており、学生さんから「臨床検査技師や細胞検査士になりたい」、「臨床検査技師になるにはどのような学校へ行けばいいのか」などの進路に関する質問が多くみられ、来場者の質的な面が大きく変わった印象を受けた。今後も臨床検査技師の認知度向上及び人材発掘に寄与していきたい。



第1号議案 令和5年度報告（涉外）

・令和6年 沖臨技新年祝賀会・表彰式 恒例事業

令和6年1月28日(日) 場所：ノホテル沖縄那覇

沖縄県臨床検査技師会の恒例行事となる新年祝賀会・表彰式では、沖臨技創立70周年・法人化35周年記念式典・祝賀会以降であるため、今回の受賞対象者は沖縄県医事功労者知事表彰を受賞した手登根会長のみとなった。震災で多忙な状況にも関わらず、厚生労働副大臣である宮崎政久衆議院議員も来賓として参加いただき、これまでの連盟活動が実を結ぶ形となった。



・サイエンステックフェス 公共事業

in ライカム 令和6年1月13日(土)・(日) 場所：イオンモールライカム

in もとぶ 令和6年2月18日(日) 場所：もとぶ文化交流センター

今期から初の事業展開となるサイエンステックフェスだが、この事業は沖縄県企画部科学技術振興課が主催、沖縄県教育委員会が後援で、家族向けに理科がもっと好きになるイベントである。今回、沖縄県公衆衛生協会から要請を受け、中部地区（ライカム）と北部地区（もとぶ）の方に当会も参画した。医療系に限らず、工学系の団体がメインであるが、当会は「臨床検査体験～ミクロの世界（血液細胞やがん細胞）・寄生虫検査・輸血検査～」からアプローチしており、これが見事功を奏する形となって、爆発的な集客となった。臨床検査技師の認知度を上げる意味でも非常に重要で、次年度以降も積極的に協力していきたい。





・令和5年度 沖縄県臨床検査技師会主催リーダー育成研修会 日臨技推進事業

令和6年2月18日(日) 場所：友愛医療センター

日臨技が推進している地域リーダー育成研修会だが、コロナ禍を経て初めて沖縄県で開催することができた。16名の受講者が参加しており、午前中は日臨技から宮島会長のビデオ講義や深澤恵治専務理事が「日本臨床衛生検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について」講義を行い、午後から Management



第1号議案 令和5年度報告（涉外）

Target Setting のグループワークを実施し、参加者の意見などを聞いていると、直接日臨技の関係者から現在の社会情勢・医療情勢を聞いて良かったとの報告もあり、グループワークに関しても運営側が予測出来なかった意見もみられ、非常に勉強になった。終日かけて非常に意義のある研修会となった。この研修会は日臨技肝いりの企画であり、次年度以降も継続して実施していきたい。

【学術関係】

1. 令和5年度第58回 沖縄県医学検査学会

- ・会期：令和5年7月2日（日）
- ・会場：琉球大学医学部臨床講義棟・保健学科棟 *現地開催のみ
- ・学会テーマ：「臨床検査のリスクリング～コロナ禍を経て～」
- ・学会長：宮里 泰山（沖縄県臨床検査技師会学術担当副会長、沖縄県立中部病院）
- ・実行委員長：山内 恵（沖縄県臨床検査技師会総務担当副会長、琉球大学病院）
- ・事務局長：田盛 仁（沖縄県臨床検査技師会事務局長、沖縄県立中部病院）

1) 学会企画

① 特別講演

講師：宮島 喜文（一般社団法人 日本臨床検査技師会 会長）

② 教育講演

「タスク・シフト/シェアにおいて臨床検査技師のなすべきこと」

講師：丸田 秀夫（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 副会長）

2) 一般演題：24 演題

臨床化学（1）、免疫血清（1）、輸血（5）、血液（7）、一般（1）、微生物（4）、細胞（2）、生理（3）

2. 令和5年度（第39回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施

- ・報告会：令和6年2月25日（日）12:00～17:30 沖縄県医師会館（3Fホール）
 - ・教育講演：「臨床検査のための国際規格（ISO/CAP）取得の意義」
講師：國仲 伸男 先生（国立病院機構 沖縄病院 研究検査科）
- *今年度より会場への入館人数の制限を設けず実施した。

3. 部門別検査研究分野の運営

今年度も日臨技に準じて、9部門14分野の学術活動（研修会・講演会等）で運営。また、沖縄県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も、数年前から学術委員として位置付けている。

<部門別検査研究分野>

部門	分野
1. 生物化学分析	1) 臨床化学検査
	2) 免疫血清検査
2. 臨床生理	1) 神経生理検査
	2) 循環・呼吸生理検査
	3) 画像診断検査
3. 病理・細胞	1) 病理検査
	2) 細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査

第1号議案 令和5年度事業報告（学術）

6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

<精度管理調査委員会>

実行委員長	副実行委員長
-------	--------

4. 学術活動（計25回）

開催日時	行事名	開催形態	点数	参加人数
2023/4/25	第12回生物化学分析部門研修会 外部精度管理	WEB	20	26
2023/4/28	第228回 沖縄臨床微生物研究会	WEB	20	44
2023/5/13	遺伝子検査部門 研修会	現地	20	10
2023/5/25	第229回沖縄臨床微生物研究会	WEB	20	70
2023/5/27	甲状腺細胞診講習会	現地	20	48
2023/5/28	2023年度 輸血検査実技講習会	現地	20	36
2023/6/24	第230回沖縄臨床微生物研究会	現地	20	20
2023/7/19	自動分析装置で測定する体腔液	WEB	20	29
2023/7/20	血液凝固の精度管理の基礎	WEB	20	22
2023/7/25	「透析医療と検査」	WEB	20	19
2023/8/16	尿沈渣の基本-尿沈渣入門編（血球・円柱）	WEB	20	150
2023/8/17	夜間当直帯の輸血検査	WEB	20	116
2023/8/24	第231回 沖縄臨床微生物研究会	WEB	20	33
2023/9/20	尿検査の基本-尿沈渣・入門編（上皮・その他）	WEB	20	59
2023/9/23	琉球大学におけるMTB迅速報告への取り組み	現地	20	28
2023/9/28	第232回 沖縄県臨床微生物研究会	WEB	20	50
2023/10/8	令和5年 血液研修会（血液形態ジュニアコース）	現地	20	31
2023/10/19	輸血部門研修会	WEB	20	25
2023/10/26	第233回 沖縄県臨床微生物研究会	WEB	20	28
2023/12/9	輸血研修会	WEB	20	25
2024/1/20	尿沈渣結果からの診療アプローチ	現地	20	34
2024/1/30	医療政策の変化に伴う臨床検査部門の対応	WEB	20	35
2024/2/16	臨地実習の何かが変わる	WEB	20	40
2024/2/21	寄生虫について考えよう	WEB	20	50
2024/2/29	臨床血液検査部門研修会	WEB	20	31

*日臨技からの助成金対象（最大5万円）の研修会が15回開催された。

第1号議案 令和5年度事業報告（学術）

5. 学術会議（計6回） * 奇数月の第4水曜日に開催

- 1) 第一回学術会議 令和5年5月26日（水）19:00～20:00 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）
- 2) 第二回学術会議 令和5年7月26日（火）19:00～20:30 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）
- 3) 第三回学術会議 令和5年9月27日（水）19:00～20:00 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）
- 4) 第四回学術会議 令和5年11月22日（水）19:00～20:00 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）
- 5) 第五回学術会議 令和6年1月24日（水）19:00～20:00 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）
- 6) 第六回学術会議 令和6年3月27日（水）19:00～20:00 沖縄県臨床検査技師会（Zoom併用）

令和5年度 収支決算書

令和5年年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

	前年度決算 (令和4年度)	予算額	決算額	増減 (対予算額)	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 入会金収入					
入会金	115,000	100,000	107,500	7,500	¥2500×43名
② 会費収入					
正会員会費収入	4,385,000	4,300,000	4,430,000	130,000	886名
賛助会員会費収入	880,000	800,000	880,000	80,000	40社
県会員費収入	-	0	-	0	
③ 事業収入					
事業収入	715,000	3,000,000	2,428,000	-572,000	
④ 補助金等収入					
助成金収入	600,000	1,000,000	1,315,500	315,500	健康展、ニューリーダー研修会
受託収入	1,641,836	1,500,000	1,698,643	198,643	医師会等
⑤ 雑収入					
受取利息	81	10	73	63	
雑収入	621,145	299,990	738,029	438,039	放技会家賃、立替金返金等
経常収益計	8,958,062	11,000,000	11,597,745	597,745	
(2) 経常費用					
① 事業費					
給与手当	260,000	300,000	-	-300,000	
諸謝金	60,495	100,000	60,000	-40,000	講師謝礼(県学会講師料)
会議費	570,783	1,000,000	1,338,093	338,093	学会ランチョンセミナー等
旅費交通費	259,000	600,000	698,075	98,075	行動費
通信運搬費	800,719	200,000	232,835	32,835	
消耗品費	1,066,301	1,300,000	1,049,410	-250,590	精度管理試料など
印刷製本費	870,146	700,000	1,094,269	394,269	会誌、パンフレット、パネル代
賃借料	329,155	1,150,000	2,347,294	1,197,294	会場費・機器レンタル
渉外活動費	-	10,000	783,750	773,750	広報活動費
雑費	830,594	20,000	145,992	125,992	
分野活動研究費	770,000	1,100,000	1,193,000	93,000	分野活動・勉強会など
租税公課	10,233	20,000	13,644	-6,356	講師料等に伴う
② 管理費					
給与手当	959,830	920,000	1,277,833	357,833	
福利厚生費	107,625	150,000	224,165	74,165	香典等、他団体会費・会合参加費等
会議費	121,228	200,000	195,985	-4,015	理事会、各種会議
旅費交通費	800,485	800,000	1,240,252	440,252	九州学会参加費・九聯技会議、理事行動費
通信運搬費	448,720	350,000	449,037	99,037	NTT、宅配、切手、ハガキなど
減価償却費	-	-	-	0	
消耗什器備品費	-	100,000	-	-100,000	
消耗品費	101,349	100,000	144,242	44,242	
印刷製本費	199,352	1,000,000	314,699	-685,301	コピーカウント料
光熱水料賃借料	710,390	800,000	699,479	-100,521	家賃、電気、水道
九州支部負担金	25,795	10,000	26,185	16,185	会員862名×30円
雑費	53,465	50,000	62,498	12,498	手続き費用
租税公課	29,750	20,000	31,000	11,000	源泉徴収、県税など
経常費用計	9,385,415	11,000,000	13,621,737	2,621,737	
当期増減額	(427,353)	0	(2,023,992)	-2,023,992	
R5年期首残高			6,829,773		
R6年期首残高			4,805,781		

令和5年度 損益計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

I 一般正味財産増減の部	継続事業		生涯教育事業	法人事業	法人会計	合計
	健康検査フェスタ 予防啓発事業 日臨技助成事業	精度管理事業				
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入会金収入						
入会金	-	-	-		107,500	107,500
② 会費収入						
正会員会費収入	-	-	-		4,430,000	4,430,000
賛助会員会費収入	-	-	-		880,000	880,000
県会員費収入	-	-	-		0	0
③ 事業収入						
事業収入	-	-	1,435,000	993,000	-	2,428,000
④ 補助金等収入						
助成金収入	500,000	-	815,500		-	1,315,500
受託収入	-	1,698,643	-		-	1,698,643
⑤ 雑収入						
受取利息	-	-	-		73	73
雑収入	-	-	22,360	43,500	672,169	738,029
経常収益計	500,000	1,698,643	2,272,860	1,036,500	6,089,742	11,597,745
(2) 経常費用						
① 事業費						
給与手当			-			0
諸謝金	0	0	60,000			60,000
会議費	30,462	512,125	778,596	16,910		1,338,093
旅費交通費	317,500	0	325,575	55,000		698,075
通信運搬費	1,428	144,595	76,568	10,244		232,835
消耗品費	121,204	859,283	60,350	8,573		1,049,410
印刷製本費	134,420	259,765	655,930	44,154		1,094,269
賃借料	433,390	10,000	198,035	1,705,869		2,347,294
渉外活動費	783,750	-	0	0		783,750
雑費	-	-	46,752	99,240		145,992
分野活動研究費	-	-	1,193,000			1,193,000
租税公課	0	-	13,644			13,644
② 管理費						
給与手当					1,277,833	1,277,833
福利厚生費					224,165	224,165
会議費					195,985	195,985
旅費交通費					1,240,252	1,240,252
通信運搬費					449,037	449,037
減価償却費					0	0
消耗什器備品費					0	0
消耗品費					144,242	144,242
印刷製本費					314,699	314,699
光熱水料賃借料					699,479	699,479
九臨技負担金					26,185	26,185
雑費					62,498	62,498
租税公課					31,000	31,000
経常費用計	1,822,154	1,785,768	3,408,450	1,939,990	4,665,375	13,621,737
当期増減額	-1,322,154	-87,125	-1,135,590	-903,490	1,424,367	-2,023,992
R5年期首残高						6,829,773
R6年期首残高						4,805,781

令和5年度 財産目録

令和6年3月31日

(単位:円)

科目	細目	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
① 現金	一般会計	187,161
	特別会計	0
② 貯金		
	普通預金	
	琉球銀行 古島支店 135-420	5,418,620
	琉球銀行 真栄原支店 449-472	4,300,993
	琉球銀行 内間支店 654433	29,993,890
2 固定資産		
① 基本財産		0
② 特定資産(学会準備金)		0
③ その他固定資産		0
資産合計		39,900,664
II 負債の部		
1 流動負債		
① 未払い金		
② 前受金	令和6年度賛助会員費	800,000
	令和6年度学会広告費	0
2 固定負債		
① 事業費	学会等準備金・事務所設立資金	4,300,993
② 事業費	ひまわり奨学金	29,993,890
負債合計		35,094,883
正味財産		4,805,781

令和5年度 貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
①現金	187,161	①未払い金	0
②預金	39,713,503	②前受金	800,000
流動資産計	39,900,664	流動負債計	800,000
2.固定資産		2.固定負債	
①基本財産	0	①事業費	34,284,883
②特定資産(学会準備金)	0	固定負債計	34,294,883
③その他固定資産	0	負債合計	35,094,883
固定資産計	0	III 正味財産の部	
		1.指定正味財産	
		①補助金	0
		②受取利息	0
		指定正味財産計	0
		2.一般正味財産	
		一般正味財産計	4,805,781
		(うち基本資産への充当額)	
		(うち特定資産への充当額)	
		正味財産計	4,805,781
資産合計	39,900,664	負債及び正味財産合計	39,900,664

令和5年度4月1日～令和6年3月31日

令和5年度 特別会計決算

① 学会/事務所設立準備金

	適用	科目	入金	出金	残高	領収証番号
(収入の部)						
			4,300,957		4,300,957	
			36		4,300,993	
(支出の部)						
				0	4,300,993	
				0	4,300,993	

② ひまわり奨学金

	適用	科目	入金	出金	残高	領収証番号
(収入の部)						
			0		0	
			30,000,000		30,000,000	
(支出の部)						
		通信運搬費		6,110	29,993,890	

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 5 年度(令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	7,327,965 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	7,445,732 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	6,036,453 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	3,607,922 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	2,198,643 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	-117,767 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
<p>当該年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響はほとんど受けず広報活動を強化、し公益目的支出計画を完了することができた。計画の完了に関わらず公益事業として引き続き継続して行きたいと考える。</p>	

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和6年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円
公益目的収支差額	6,930,000 円	6,036,453 円	7,327,965 円	7,445,732 円	7,327,965 円
公益目的支出の額	2,830,000 円	3,288,638 円	2,597,965 円	3,607,922 円	2,597,965 円
実施事業収入の額	2,200,000 円	2,141,836 円	2,200,000 円	2,198,643 円	2,200,000 円
公益目的財産残額	397,965 円	1,291,512 円	0 円	-117,767 円	0 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

監査報告書

令和6年5月3日

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会

会長 手登根 稔 様

監事 多和田真順 (印)

監事 原我栄 (印)

私たち監事は、当技師会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行についての監査を行いました。その内容について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及び附属明細書について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適切に示しているものと認めます。

以上

令和5年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会
会 長 手登根 稔 殿

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人および一般財団法人に関する法律第124条第1項及び一般社団法人および一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について精査しました。


2. 監査意見


- ア 公益目的支出及び実施事業収入について、事業別区分経理を行った上で各事業に関連する費用及び収入が適正な基準で配賦されているとともに、公益目的事業計画に基づいた内容で事業が執行されていると認められます。
- イ 公益目的支出計画が計画どおり実施されていることによって、適切な公益目的収支差額となっており、公益目的財産額が見込みどおりに減少していると判断します。
- ウ 行政庁へ提出すべき公益目的支出計画実施報告書に関する書類が備わっていることを確認しました。

以上、当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 6 年 5 月 3 日

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

監 事 多田 真順 

監 事 屋我 栄 

令和6年度 事業計画

新型コロナウイルス感染症が、2類相当から5類へと移行されて早一年となりました。まだ、新型コロナウイルス感染症はくすぶってはおりますが、重症化する方はほとんどなく、各種学会や研修会等も特に規制無く開催されております。アフターコロナにおいては、Web開催のメリットも上手く活用しつつ、対面開催を中心に活動を進めていく所存です。

さて、今年元旦早々に能登半島において大地震が起こり、甚大な災害を被り多くの方々が被災されました。亡くなられた方々に対してお悔やみを申し上げるとともに、被災されました皆様へ、一日も早い復興を祈念しつつ心からお見舞い申し上げます。丁度昨年末、日臨技は災害対策マニュアル作成に向けての研修会を行ったばかりでしたので、一層災害対策についての認識が高まっております。沖縄県においても、先日の台湾地震で津波警報が沖縄県全地域に発令されたばかりで、特に被害は無かったものの、日頃から大災害に対して備えておく必要性を痛感しております。日臨技も今年度47都道府県における行政との災害対策協定の締結を推進しておりますが、沖縄県も早急に行政と締結を結び、いざ災害が起こった時にスムーズに動ける体制を構築していきたいと考えております。

今年度も重点課題としまして、まず「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催が挙げられます。沖縄県においては、昨年度までには計9回開催し、会員の約56%の方々が終了されました(3月時点で全国3位)。今年度は第10回目を8月に実施する予定ですが、是非未受講の方は早めに受講されますようお勧めいたします。今年4月から医師の働き方改革が実施され、各施設でタスク・シフト/シェア事業が推進されているところかと存じますが、是非自施設の中で一つでも出来るところから始めていただければ幸いです。

臨地実習についても、今年度の実習生より、臨地実習受け入れ施設においては1名以上の臨地実習指導者の配置が義務付けられました。実習する学生も、そして実習生を受け入れる側も実習内容のレベルアップが求められます。質の高い臨床検査技師の育成が社会的地位の向上にも繋がることから、是非多くの施設の皆様の協力をお願い致します。また、有料(受講料1名3000円)とはなりますが、一施設複数名受講可能となっておりますので、規模の大きな施設においては、是非積極的に指導者を増やしていただければ幸いです。

新人研修会につきましては、今年度は7月開催予定ですが、コロナ禍以前のように、ペンションを貸し切ったの宿泊研修を予定しております。新卒の皆様を優先いたしますが、是非多くの方々に参加いただき、横のつながりを深めていただきたいと望んでおります。

公益活動としては、8月になごみ会主催「県民健康フェア」を、11月には恒例の全国「検査と健康展」を開催予定しております。昨年はマスコミ(ラジオや新聞等)を利用して広く県民(特に中・高校生)へアピールしましたが、今年度もマスコミを利用した臨床検査技師の広報活動を強化していく所存です。そのため、新たに広報担当の理事を配置し、HPの充実化や会員への情報伝達の省力化(ペーパーレス化、月報)、マスコミへの広報活動を強化していきたいと考えております。

また、今年度は青年部会や女性部会の設立も検討していきたいと考えております。宮島会長が一昨年参議院議員を退いてから、現在臨床検査技師の国会議員が不在の状況が

続いております。宮島会長の参議院議員6年間の実績を振り返ってもわかりますように、法改正つまり臨床検査技師の地位向上には政治的力が必須であります。政治へ無関心な若手技師が多い中、技師連盟においても同様に連盟加入者も激減しており、日臨技自力で国会議員を擁立することが困難な状況に陥っております。それを打破するためには、若者に連盟の必要性や政治とのかかわりの重要性を認識していただく必要があります。そのためにも若い方々を中心にSNS等を利用して広く我々の地位向上のための情報伝達を強化していただければ幸いです。さらに、当会の会員約7割が女性会員であることから、女性部会を立ち上げ、そのパワーをお借りして会の運営を盛り上げていただくことも重要かと思えます。

沖臨技の事業の一つに、2年前から開始した「ひまわり奨学金事業」がありますが、昨年待望の奨学生が1名誕生しました。再度県内の各高等学校へは案内をかけ、将来沖臨技を背負って立つような優秀な人材獲得に注力していく所存です。該当する学生がおりましたら是非ご紹介下さいませようお願い申し上げます。

学術活動については、是非日臨技の助成事業も上手く利用しつつ、コロナ禍以前のように活発な学術活動を再開させていただけますよう、宜しくお願い致します。今年度の沖縄県医学検査学会は、コロナ禍以前のように6月に開催いたします。特別講演としては、青森県臨床検査技師会会長であられる奥沢悦子技師をお招きし、「災害・救急・プレホスピタルに挑む！-北国の臨床検査技師の今-」というタイトルで講演を賜ります。奥沢氏はDMAT隊員の資格も持ち、現在救命救急センター参事として、日本で唯一ドクターヘリに乗り込む臨床検査技師として活躍されており、リアルな最新の情報を拝聴出来るものと期待しております。シンポジウムとしましては、「コロナ禍を振り返って～各方面から次の有事に備えるために～」を企画いたしました。今回のパンデミックに対する沖臨技の取り組み、実際の医療現場、民間検査センター、そして行政の立場から、コロナ禍を振り返りながら次の有事を見据えて討論していただきます。是非多くの会員もしくは賛助会員の皆様のご参加をお願い致します。

最後になりますが、アフターコロナにおいて我々は、これまでの経験を活かしつつ、有事に対して備えを強化していく必要があると考えます。行政や他団体とも連携を取りつつ、県民から信頼されるよう社会的な認知度向上に向けて広報活動にも注力していく所存です。会員並びに賛助会員の皆様方のさらなるご協力を宜しくお願いいたします。

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会 会長 手登根 稔

【総務関係】

1. 組織運営の強化

- 1) 日臨技、九州支部、各都道府県技師会との連絡・連携体制の構築及び維持
- 2) 会員数の増加が横ばい状態に推移しつつあり、引き続いての継続会員の維持及び新入・再入会員確保に努める
- 3) 日臨技企画講習会の効率的な稼働及び各種認定技師制度の啓蒙・取得促進をはかる。
- 4) 行政庁、他医療関連団体との交流を密にし、連携をはかる
- 5) 財務管理の徹底と強化
- 6) 各種委員会の円滑運用の補助
- 7) 沖臨技70周年記念誌の発刊

2. 情報、連絡網の強化

- 1) メールでの定期便の活用（会員および賛助会員への情報提供）
- 2) 会員名簿の適正管理と有効活用
- 3) 先島地区の情報共有と学術支援
- 4) 日臨技会員専用サイトの活用普及と情報更新の促進

3. 広報活動

- 1) 沖臨技ホームページの充実（円滑運用、情報発信の強化）のための補助
- 2) 各種メディアの活用（ラジオ番組への出演等）

4. その他

- 1) 公益目的支出の計画的運用
- 2) 事務員の効果的業務運用と就業環境整備
- 3) 沖臨技会誌の継続発行
- 4) 各賞受賞祝賀会及び新年会の開催
- 5) 渉外、学術と協働した事業の推進
- 6) 日本臨床検査技師連盟沖縄県支部活動への協力
- 7) 災害対策における行政や関係団体との連携強化

【渉外関係】

- ・ **2024年度日臨技九州支部医学検査学会（第58回）開催（担当：鹿児島県）に向けた県内の啓発活動**
日時：2024年11月9日（土）・10日（日） 会場：鹿児島サンロイヤルホテル

- ・ **第13回新人宿泊研修会の開催**
日時：2024年7月6日（土）・7日（日） 場所：ペンションきちむい

- ・ **タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会開催受講に向けた県内の啓発活動**
2024年5月8日現在、第9回まで開催を終え、今後下記の日程で最終開催を予定している。
＜タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会開催予定日＞
第10回（2024年8月11日）

- ・ **令和6年度 沖臨技主催地域リーダー育成研修会の開催**
日時：2025年2月予定

- ・ **公共事業の継続**
 - 1) 子宮の日を中心とした子宮頸がん検診啓発活動（2024Love49プロジェクト）への協力（4月）
 - 2) なごみ会主催第11回県民健康フェア 2024年への参加（8月予定）
 - 3) 日臨技公益委託事業 全国「検査と健康展」2024の開催（11月予定）
 - 4) ピンクリボン沖縄2024への協力（10月予定）
 - 5) サイエンステックフェスへの協力
 - 6) 県民健康公開講座（健康運動指導士会主催）への協力

- ・ **他医療団体との連携活動**
 - 1) 各種関連団体主催行事などへの参加協力
 - 2) 沖縄県保健医療連合（なごみ会）や沖縄県医療推進委員会への参加
 - 3) 沖縄県公衆衛生協会、小児保健協会への協力
 - 4) 関連団体の新年会、祝賀会等への参加

- ・ **その他**
沖縄県臨床検査技師会発展のための事業等

【学術関係】

1. 令和6年度第59回 沖縄県医学検査学会

- ・会期：令和6年6月16日（日）
- ・会場：琉球大学医学部臨床講義棟・保健学科棟
- ・学会テーマ：「臨床検査のリスクリング～コロナ禍を経て～」
- ・学会長：手登根 稔（沖縄県臨床検査技師会 会長 浦添総合病院）
- ・実行委員長：田盛 仁（沖縄県臨床検査技師会事務局長、沖縄県立八重山病院）
- ・事務局長：山内 恵（沖縄県臨床検査技師会総務担当副会長 琉球大学病院）

特別講演：奥沢 悦子（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 執行理事）

会長講演：手登根 稔（沖縄県臨床検査技師会 会長）

シンポジウム：「コロナ禍を振り返って～各方面から次の有事に備えるために～」

沖縄県医療介護保険部 糸数 公

AVSS/ACT Labo 春山 貴弘

アドベンチストメディカルセンター、前沖臨技副会長 瀬戸 司

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、沖臨技副会長 宮里 泰山

一般演題：37 演題（予定）

ランチョンセミナー：4 社

2. 部門別検査研究の運営

今年度も日臨技に準じて、9 部門 14 分野の学術活動（研修会・講演会等）で運営して行く。また、沖縄県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も、数年前から学術委員として位置付けている。

<部門別検査研究分野>

部門	分野
1. 生物化学分析	1) 臨床化学検査
	2) 免疫血清検査
2. 臨床生理	1) 神経生理検査
	2) 循環・呼吸生理検査
	3) 画像診断検査
3. 病理・細胞	1) 病理検査
	2) 細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

<精度管理調査委員会>

実行委員長	副実行委員長
-------	--------

第3号議案 令和6年度事業計画（学術）

3. 令和6年度（第40回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施

県内の約90施設を対象に、今年度同様、生化学、免疫・血清検査、微生物検査、血液検査、一般検査、輸血検査、生理検査、病理、細胞検査の9分野について実施予定（9月頃実施予定）。

4. 第73回日本医学検査学会 in 金沢の開催

開催形式：現地開催＋事後オンデマンド配信（特別プログラムのみ。一般演題は対象外）

会期：[現地] 令和6年5月11日（土）～5月12日（日）

[事後オンデマンド配信] 令和5年5月23日（木）～6月24日（月）

会場：石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル日航金沢 他

テーマ：命を見つめ・未来を拓く One step ahead 臨床検査

5. 2024年度九州支部医学検査学会 in 鹿児島（第58回）の開催

開催形式：現地開催

会期：令和6年11月9日（土）～10日（日）

会場：鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目8-10）

テーマ：「Take the next step」～未来へ踏み出す大きな一歩～

6. 沖臨技新人研修会の開催 ＊コロナ禍前の宿泊研修形式とする。

日時：令和6年7月6日（土）～7日（日）

場所：ペンションきちむい

対象：入職1～4年目の臨床検査技師

※技師会の組織・各業務内容の説明、技師連盟、各学術分野長によるレクチャーと新人の交流会

7. 機関誌の発行

今年度も学会誌を含んだ沖縄県臨床検査技師会誌第59巻を発刊する。論文や学術関連、啓発活動などの年間行事だけでなく、引き続き一般会員に反映できる場として位置づけていきたい。

8. 各種研修会

日臨技から1研修会につき最大5万円が支払われる助成金制度に関しては、今年度も各都道府県において20研修会を上限に支給される見込みである（Webのみの開催も対象）。昨年度は15の研修会に支給されたが、今年度は上限の20研修会を目指し、充実した研修会を開催していきたい。

9. 部門長会議の継続

学術理事、部門長、分野長を含めた学術会議は奇数月の第4水曜日に開催している。昨年度は6開催された。理事会や各部門からの周知事項を共有する場として今年度も計画的に開催する。

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和6年3月作成

	R5年予算	前年度 R5年決算	R6年予算	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 入会金収入				
入会金	100,000	107,500	100,000	¥2,500×40名
② 会費収入				
正会員会費収入	4,300,000	4,430,000	4,500,000	¥5,000×900名
賛助会員会費収入	800,000	880,000	880,000	¥20,000×44社
県会員費収入	-	-	-	
③ 事業収入				
事業収入	3,000,000	2,428,000	2,000,000	県学会参加費、広告等
④ 補助金等収入				
助成金収入	1,000,000	1,315,500	1,500,000	健康展、研修会
受託収入	1,500,000	1,698,643	1,700,000	医師会精度管理事業
⑤ 雑収入				
受取利息	10	73	100	
雑収入	299,990	738,029	319,900	
経常収益計	11,000,000	11,597,745	11,000,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
給料手当	300,000	-	-	
諸謝金	100,000	60,000	120,000	
会議費	1,000,000	1,338,093	1,000,000	弁当など
旅費交通費	600,000	698,075	600,000	行動費など
通信運搬費	200,000	232,835	250,000	発送費など
消耗品費	1,300,000	1,049,410	1,100,000	精度管理試薬など
印刷製本費	700,000	1,094,269	800,000	
賃借料	1,150,000	2,347,294	1,000,000	学会会場使用料↑
渉外活動費	10,000	783,750	780,000	
雑費	20,000	145,992	20,000	
分野活動研究費	1,100,000	1,193,000	1,200,000	
租税公課	20,000	13,644	20,000	
② 管理費				
給料手当	920,000	1,277,833	1,100,000	
福利厚生費	150,000	224,165	200,000	
会議費	200,000	195,985	200,000	
旅費交通費	800,000	1,240,252	900,000	
通信運搬費	350,000	449,037	350,000	
減価償却費	-	-	-	
消耗什器備品費	100,000	-	100,000	
消耗品費	100,000	144,242	150,000	
印刷製本費	1,000,000	314,699	300,000	
光熱水料賃借料	800,000	699,479	700,000	
九臨支部負担金	10,000	26,185	30,000	
雑費	50,000	62,498	50,000	
租税公課	20,000	31,000	30,000	
経常費用計	11,000,000	13,621,737	11,000,000	
当期経常増減額	-	-2,023,992	-	

令和6年度予算

令和6年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

I 一般正味財産増減の部	継続事業		生涯教育事業	法人会計	合計
	検査と健康展 予防啓発事業 技助成事業	日臨 精度管理事業			
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 入金収入					
入金金	0	0	0	100,000	100,000
② 会費収入					
正会員会費収入	0	0	1,500,000	3,000,000	4,500,000
賛助会員会費収入	0	0	0	880,000	880,000
県会員費収入	0	0	0	0	0
③ 事業収入					
事業収入	0	0	2,000,000	0	2,000,000
④ 補助金等収入					
助成金収入	500,000	0	1,000,000	0	1,500,000
受託収入	0	1,700,000	0	0	1,700,000
⑤ 雑収入					
受取利息	0	0	0	100	100
雑収入	0	0	0	319,900	319,900
経常収益計	500,000	1,700,000	4,500,000	4,300,000	11,000,000
(2) 経常費用					
① 事業費					
給料手当	0	0	0		0
諸謝金	20,000	0	100,000		120,000
会議費	30,000	500,000	470,000		1,000,000
旅費交通費	200,000	0	400,000		600,000
通信運搬費	100,000	100,000	50,000		250,000
消耗品費	100,000	900,000	100,000		1,100,000
印刷製本費	100,000	400,000	300,000		800,000
賃借料	300,000	0	700,000		1,000,000
渉外活動費	780,000	0	0		780,000
雑費	10,000	0	10,000		20,000
分野活動研究費	0	0	1,200,000		1,200,000
租税公課	10,000	0	10,000		20,000
② 管理費					
給料手当				1,100,000	1,100,000
役員報酬				-	0
福利厚生費				200,000	200,000
会議費				200,000	200,000
旅費交通費				900,000	900,000
通信運搬費				350,000	350,000
減価償却費				0	0
消耗什器備品費				100,000	100,000
消耗品費				150,000	150,000
印刷製本費				300,000	300,000
光熱水料賃借料				700,000	700,000
九臨技負担金				30,000	30,000
雑費				50,000	50,000
租税公課				30,000	30,000
経常費用計	1,650,000	1,900,000	3,340,000	4,110,000	11,000,000
当期増減額	-1,150,000	-200,000	1,160,000	190,000	0

令和6年5月7日

沖縄県臨床検査技師会

会長 手登根 稔 殿

令和6年・7年度沖縄県臨床検査技師会役員推薦について（答申）

日頃より沖縄県臨床検査技師会の運営、発展に多大なるご尽力を注がれていることに敬意を申し上げます。今回、令和6年2月5日に役員推薦委員の委嘱を受け、役員推薦委員会が設置されました。話し合いの結果、推薦委員会としての最終案がまとまりましたので答申いたします。

役員推薦委員会としては、以下の基本姿勢で役員推薦にあたりました。

- 1) 過去に行われてきた推薦委員会の人選手法を踏まえ、はじめに現役員の継続意思の確認を行った。
- 2) 現役員に役員継続の意思の確認が得られた場合、候補者として推薦した。
- 3) 原則として、推薦にあたっては積極性、協調性、そして指導力を念頭に置き、十分に考慮し推薦した。
- 4) 地域や施設間のバランス性が考慮されるべきであるが、実際に人選するにあたっては、それらのことが技師会運営の弊害とならないようにした。
- 5) 日本臨床衛生検査技師会では平成17年（2005年）に女性部会が設置された。19年経った現在、女性技師の意見や活動は技師会運営の大きな力となっており、女性技師も積極的に推薦した。

以上の基本姿勢で、役員推薦という目的のために委員同士の検討を重ね、その責務を全うしました。

新理事会がこれまで以上に活発な議論の場となり、沖縄県臨床検査技師会の発展に寄与することを祈念しております。

役員推薦委員会

金城 和美（琉球大学病院）

當銘 弘幸（沖縄赤十字病院）

大嶺 淳（沖縄県立南部医療センター・
こども医療センター）

潮平 さおり（沖縄県立清和病院）

新里 直子（ハートライフ病院）

第4号議案 令和6・7年度沖臨技役員推薦について

令和6・7年度沖縄県臨床検査技師会役員候補者

理事20名

	氏名	施設名	担当者
1	山城 篤	那覇市立病院	留任
2	宮里 泰山	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	留任
3	山内 恵	琉球大学病院	留任
4	田盛 仁	沖縄県立八重山病院	留任
5	登川 雅子	友愛医療センター	留任
6	牧志 輝	沖縄県立中部病院	留任
7	喜舎場 良香	浦添総合病院	留任
8	国仲 伸男	国立病院機構 沖縄病院	留任
9	金城 正樹	中頭病院	留任
10	立津 千絵	南部徳洲会病院	留任
11	八幡 照幸	沖縄県立八重山病院	留任
12	我如古 靖	ハートライフ病院	留任
13	仲宗根 雅司	沖縄赤十字病院	留任
14	喜納 はるみ	中部地区医師会成人病 検診センター	留任
15	今泉 直樹	琉球大学医学部保健学科	新任
16	赤嶺 ひかる	中部徳洲会病院	新任
17	小坂橋 まゆり	首里城下町クリニック第一	新任
18	赤嶺 あかね	那覇市立病院	新任
19	渡久地 陽架	北部地区医師会病院	新任
20	伊計 義人	沖縄県立宮古病院	新任

監事2名

1	手登根 稔	浦添総合病院	新任
2	瀬戸 司	アドベンチストメディカルセンター	新任